

教育目標 ぶるちを愛し、夢に向かって頑張る子どもの育成へえがおいっぱい げんきいっぱい いのちいっぱい 東っ子

東小だより



文責 校長 田崎正明

文月号

三分の一、一学期の終業

一学期の終業を迎えました。学期中、皆様方には、本校への深いご理解とご協力、また、東っ子を温かく見守っていただいたことに心より感謝申し上げます。おかげをもちまして、大きな事故の発生もなく、全児童、元気に学校生活を送ることができました。これから長い夏休みに入りますが、健康を保ち、自分の命を自らの力で守ることが出来る子供であることを願います。ひと夏を越え、一回り逞しくなった姿を期待したいと思います。さて、本年度、子供たちとともに展開してきます「東っ子笑顔大作戦」ですが、学期末を迎え、子供たちも工夫した活動を展開してきます。その一つに「朝の声」おはようございます」があります。これは、運営委員会の子供たちが計画したあいさつ運動です。「朝の声」とは、正門で元気に響き渡るあいさつです。クラスごとに子供たちがあいさつ運動をしていく予定です。その表情は笑顔でいっぱいです。登校して行く子供たちも笑顔です。その姿を見ていると、私も、とてもいい気持ちになり、一日の活力がみなぎります。また、この取組は、下校時にも良い効果を与えています。子供たち同士があいさつを交わすようになり、また、「じゃあね。また明日。」先生方、さようなら。」など、高い相手意識が感じられます。子供たちは、登校・下校、すなわち「出会いと別れ」の両方に「期待と希望」、「喜び、安心」を感じているようです。あいさつを通して人間関係が深まっています。今後も工夫し、深化させていきたい活動です。そのほかにも、六年生が全校での交流活動を企画してくれた「仲良しよし作戦」がありました。異学年の子供たちが遊びを通して仲間意識を高め、その結果、笑顔があふれるというものです。企画してくれた六年生のアイディアに感動し、また、そんな子供たちを誇りに思います。「笑顔」は、牛深東小の教育成果であると位置づけられています。その兆しが実感できた一学期でした。一年の三分の一が終わりました。あつという間でしたが、東っ子は、自らあゆみを進め、学びを深めています。今学期の成長を二学期につなげ、より高い自律の姿を目指していきたいと思ます。梅雨明けとともに猛暑、酷暑となりそうです。皆様方、ご自愛ください。二学期もよろしく願います。



仲良しよし作戦 (2年生と5年生の交流から)



運営委員による初めての児童集会の様子



「朝の声」子供たちによるあいさつ運動の様子

学校ICT化

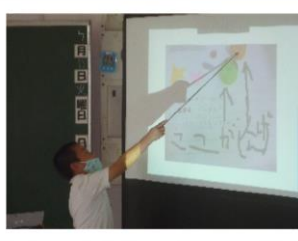
GIGAスクール構想実現に向け、本年度から、子供たち一人一人にタブレットPCが配備されました。学校にはWiFiが整備され、校舎内でも通信が可能となりました。現在、それらを活用した学習活動やデジタル教科書を用いた指導を工夫し、子供たちに個別最適な学びの実現を目指しています。まずは、子供たちも、教職員も機器の操作に慣れることから始めています。学校のICT化によって授業が変わりつつあります。興味関心が高まり、より分かりやすい授業を目指して指導と学習の工夫を進めてまいります。ICT操作・活用技能は、今後の社会において必要不可欠になるものでもあります。学習を通じて、子供たちに学び方として定着するように、指導支援に力を入れていきたいと思ます。

※GIGAスクール構想とは

一人一台の端末と高速通信環境の整備をベースとして、ソサエティ5.0の時代を生きる子供たちのために「個別最適化され、創造性を育む教育」を実現させる国の施策



ICTを活用した授業の様子



地域の皆様方とともに

十二日(月)に学校運営協議会を開催しました。保護者の皆様、地域の方々が学校運営に積極的に参画いただくことで、地域とともにある学校づくりを進めるものです。昨年度は、感染症拡大防止により、多くの地域交流や地域学習が展開できませんでした。教育の充実のうえから大きな損失であったと感じています。このことから、本年度は多くの方々のご理解とご支援、ご協力をいただきながら地域に根差した教育を進めてまいり所存です。地域の宝である東っ子の健全育成に向けて、よろしく願います。

地域学校協働本部

山崎敬三郎 様	老人クラブ
江良 安雄 様	区長
山下 廣光 様	民生委員
浦本 力 様	農業
坂田 文香 様	図書館長
山田 功 様	社会福祉協議会
西村 久子 様	読み聞かせボランティア
尾崎 幸正 様	市役所
山下 裕貴 様	警察署
福島公一郎 様	駐在所
山下 勇一 様	駐在所

学校運営協議会

会長 中元 清二 様	深海地区振興会長
副会長 江良 春隆 様	久玉地区振興会長
委員 川邊 榮喜 様	久玉地区区長会長
委員 山下 進一 様	深海地区区長会長
委員 小牧 みえ 様	久玉地区振興会副会長
委員 片白 健次 様	民生委員児童委員協議会会長
委員 猪原たか子 様	主任児童委員
委員 戸村 羊士 様	南消防署長
委員 三宅 晃洋 様	明照園理事長
委員 三宅由利子 様	久玉保育園理事長・園長
委員 濱崎 彰吾 様	元小・中学校PTA会長
委員 須崎 光輝 様	漁協深海支所長・PTA会長(小)
委員 古口 功 様	PTA会長(中)
委員 江良美貴子 様	地域学校協働活動推進員

※学校運営協議会委員の方々は、地域学校協働本部委員を兼ねていらっしゃいます。地域学校協働本部には教職員を含め33人での本部構成になります。



学校運営協議会の様子

あしがき 「巣立つ子よ 天草の海の色のごと 藍より青く 親(われ)を越えゆけ」 三嶋浩子

以前テレビCMでよく耳にした詩があります。詩人であり、作詞家である宮澤章二の「行為の意味」という詩です。やさしさの行為、その心持ちを表したとても印象深い詩であると感じます。ご一読いただければ幸いです。子供たちにも紹介した詩です。

あなたの〈こころ〉はどんな形ですかと、人に聞かれても答えようがない。自分にも他人にも〈こころ〉は見えない。けれど、ほんとうに見えないのであろうか。確かに〈こころ〉はだれにも見えないけれど〈こころづかい〉は見えるのだ。それは、人に対する積極的な行為だから。同じように胸の中の〈思い〉は見えないけれど〈思いやり〉はだれにも見える。それも人に対する積極的な行為なのだから。あたたかい心があたたかい行為になり、やさしい思いがやさしい行為になるとき、〈心〉も〈思い〉も初めて美しく生きる。それは、人が人として生きることだ。

くまもと家庭教育十か条 第九条 (地域全体での子育て) この子もあの子も 地域で子育て みんなの宝